

ふるさと珠洲市サポーターの皆様へ

vol.2

平成 20 年度からスタートした「ふるさと納税制度」。珠洲市では「美しい里山里海の自然環境の保全」と、「子供からお年寄りまでが元気に暮らせる住みよいまちづくり」の実現を目指し、皆様からお寄せいただきましたご寄附は、平成 21 年度計で 49 件 5,211,000 円、平成 20 年度から合わせますと、92 件 9,354,000 円に上り、多くの事業に活用させていただきました。

今回は、平成 21 年度にご寄附を活用させていただきました事業の一部を皆様にご報告いたします。

○『珠洲親子の自然学校事業』に活用させていただきました！



珠洲市では、7月第4日曜日を「珠洲親子の日」とし、美しい里山里海の自然環境の中で親子の「絆」を深めていただく「珠洲親子の自然学校」を開催しています。

平成 21 年度は、市内外から親子 78 組の親子、総勢 203 名が参加され、1泊2日のキャンプを通して、大浜大豆による豆腐づくりや農作物の収穫、投げ釣りなど様々な体験をしていただき、珠洲の豊かな里山里海を楽しむとともに、「歩育」の観点から親子ウォークも取り入れ、親子の「絆」をしっかりと深めていただいたものと思います。

今後この取り組みを通して、親子の「絆」を深めていただくには、美しい里山里海がある珠洲市が最適であることを広く全国に発信していきたいと考えています。



○『新型インフルエンザ予防接種費用助成』に活用させていただきました！

平成 21 年度に国内外で発生した「新型インフルエンザ」。珠洲市においても感染者が確認され、感染拡大の防止に取り組むとともに、65 歳以上の方と幼児について新型インフルエンザ予防接種費用助成を行いました。予防接種は、妊婦の方や基礎疾患をお持ちの方を優先し、幼児やお年寄り順次に市内医療機関で実施し、迅速に進めることができました。幸いにも市内においては重篤な症状になられた方はいらっしゃいませんでした。現在、ヒブワクチンの接種助成も行ってありますが、今後は子宮頸がんワクチンの接種助成も予定しており、「子供からお年寄りまでが元気に暮らせる住みよいまちづくり」を実現するよう努力していきたいと考えています。



○『市内路線バスの便利度向上計画』に活用させていただきました！

通勤や通学、買い物など、地域の「足」として大切な役割を果たしている路線バス。現状のままでは存続が厳しい状況となっていますが、生活の足、観光の足として今後も公共交通を確保する必要があります。昨年のアンケート結果を踏まえ、平成 21 年度はスクールバスの空き時間を活用した「里山バス」や、これまでバス路線のなかった交通空白地帯を運行する「のりタク」。市内全域と道の駅「すずなり館」を結ぶ予約制の「すずなりタクシー」など、様々な実験を通して過疎地域における公共交通のありかたを模索しております。

現在、まちなか循環バス「すずらん号」が中心市街地を走り、市民のみなさんの笑顔を運んでいます。今後もよりよい公共交通を目指して様々な取り組みの中でみなさんに満足いただけるようにしていきたいと思っています。

○『小学校耐震改修事業』に活用させていただきました！

小学校は、珠洲の将来、日本の将来を担う子供たちが1日の生活の大半を過ごす大切な場所です。さらに、地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は特に重要です。平成 21 年度は正院小学校で耐震改修工事を内装の改修も合わせて実施しました。夏休み中にほぼ仕上がり、2学期の始業式の朝には、きれいに改修された学校に登校してきた子供たちが夏休みの宿題や工作を置くのも忘れて、元気一杯に学校中を走り回っていました。その笑顔こそが珠洲の宝だと思います。珠洲の子供たちの将来を第一に考え、今後も教育の分野に、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。



今後も、珠洲市サポーターの皆様のごふるさとを思うお心にお応えすべく、努力してまいりたいと存じますので、引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

珠洲市長 泉谷 浩寿 裕